siroca
crossline

ミル付きミキサー

SJM-115
取扱説明書

このたびはsiroca crosslineミル付きミキサー SJM-115をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

（）：	禁止（してはいけない内容）を示します。
（ ）：	強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

子どもだけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。

本体ベースを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電・故障の原因になります。

カッターの刃に直接手を触れない
鋭利なため、けがの原因になります。

本体ベースを落としたり、衝撃を加えたりしない
感電・故障の原因になります。

40℃以上の熱い材料を容器に入れない
ふきこぼれによるやけど・容器割れによるけがの原因になります。

運転中にふたを開けたり、容器の中に指・スプーン・はしなどを入れたりしない
けが・故障の原因になります。

製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。
＜異常・故障例＞
- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする

など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む　など

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。

電源つまみが「STOP」になっていることを確認してから、電源プラグを抜き差しする
けがの原因になります。

部品の取りつけ・取りはずし・お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

⚠警告

◆ 設置に関する注意事項 ◆

禁止

不安定な場所では使わない
転倒によるけが・故障の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
テーブルクロス、ビニール、紙、おぼん　など

禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない
変形・故障の原因になります。

禁止

屋外で使わない
ほこりや虫などの混入・故障の原因になります。

注意

◆ 使用上の注意事項 ◆

容器が空の状態でモーターを運転しない
モーター故障の原因になります。

禁止

使用中に本体を移動しない
転倒により、けが・故障の原因になります。

部品は必ず専用のものを使う
異なる製品の容器やカッターなどをお使いになると、部品の破損による調理物への混入・けがの原因になります。

禁止

定格時間（2 分）を超えて連続運転をしない
くり返しお使いになる場合は、2 分以上休ませてから運転してください。故障の原因になります。

禁止

容器の 1250ml の目盛を超えて材料を入れて使わない
故障の原因になります。

禁止

ふた、ミキサー容器、ミル容器ふたなどだけを持って本体を移動しない
部品がはずれて、けが・故障の原因になります。

禁止

カッターの回転が完全に止まるまでふたを開けない
使用中に材料を加える場合は、必ず電源つまみを「STOP」にしてカッターの回転が止まってからふたを開けてください。材料のふきこぼれ・けが・故障の原因になります。

禁止

運転中に部品の取りつけ・取りはずしをしない
けが・故障の原因になります。

材料が多すぎるなどの原因で運転が止まった場合は、すぐに電源つまみを「STOP」にして、材料を減らしてから再度運転する
故障の原因になります。

調理以外の目的では使わない
故障の原因になります。

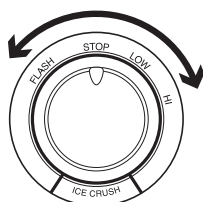
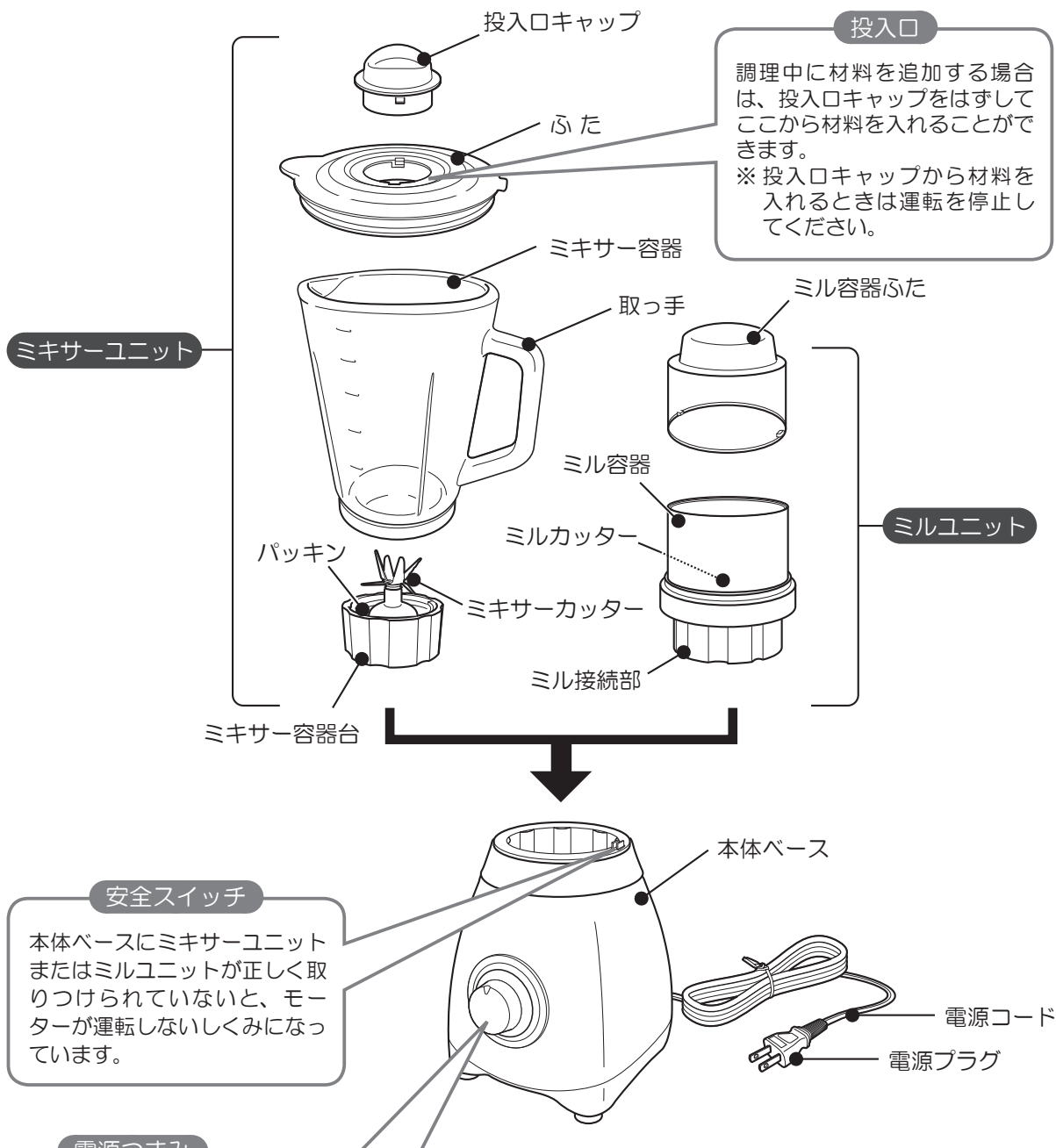
禁止

本製品は家庭用のため、業務用として使わない
故障の原因になります。

仕様

品名（型番）	siroca crossline ミル付きミキサー（SJM-115）
容量（約）	ミキサー容器：1500ml（使用時最大容量：1250ml）、ミル容器：100ml
定格時間	連続（2 分間運転、2 分間停止のくり返し使用）
本体サイズ（約）	幅 150 ×奥行 170 ×高さ 388mm（取っ手は含まない）
本体重量（約）	本体ベース＋ミキサーユニット：3kg、ミルユニット：0.1kg
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	600W
コード長（約）	1m
付属品	ミルユニット
生産国	中国

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国ではお使いになれません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

各部のなまえ

STOP	運転が止まります。
LOW	低速で運転します。
HI	高速で運転します。
FLASH	電源つまみを合わせているあいだだけ運転します。（電源つまみは固定されず、手を離すと運転が停止します。）短く断続的に運転することによって、かたい材料などを少しずつかくはんできます。
ICE CRUSH	ボタンを押しているあいだだけ運転します。（電源つまみを「STOP」にしているときのみ運転します。）氷などを砕くときに、数回押します。

組み立て

● はじめてお使いになるときは、本体ベース以外の部品をスポンジと台所用中性洗剤を使ってよく洗ってから組み立ててください。
⇒ 部品の洗いかたについては、９ページの「お手入れ」を参照してください。

ミキサーユニットの組み立てかた

1 パッキンをミキサーカッターの外縁にはめて、ミキサー容器台に取りつける

● パッキンは、忘れずに必ず取りつけてください。調理物がもれる原因になります。

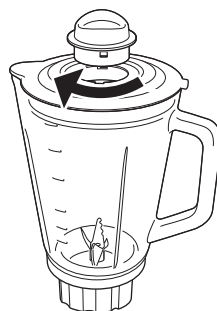
※ カッターの刃は鋭利なため、直接手を触れないでください。

2 ミキサー容器を１のミキサー容器台の上にまっすぐ載せて、時計回りに回して取りつける

● 固定されるまでしっかりと締めつけてください。締めつけがゆるいと、調理物がもれる原因になります。

3 ふたの凸部をミキサー容器の注ぎ口に合わせて、しっかりとふたを閉める

● ふたがゆるいと、調理物がもれる原因になります。

4 投入口キャップをふたの投入口にはめ込み、時計回りに回して締める

消耗品

劣化・損傷したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

部品名	部品コード
ミキサー専用パッキン　3個セット	ＳＪＭ-115PS

使いかた

ミキサーを使う

ミキサーでできること（例）

・果物や野菜と水分を混ぜ合わせて、ジュースやスープを作る

ミキサーで調理できない食品

・肉類、魚類
・油分の多い食品（ごま・ピーナッツなど）
・粘り気の強い食品（とろろいも・生わかめ・ジャム・納豆 など）
・かたい食品、乾燥食品（氷砂糖･かつおぶし･市販のロックアイス･乾燥したきのこ･干しえび・昆布 など）

1 本体ベースからミキサーユニットをはずした状態で、ミキサー容器に材料を入れてふたを閉める

- やわらかい食品は２センチ角、かための食品は１センチ角程度に小さく切って入れてください。大きいとうまくかくはんできないことがあります。
- 氷は２センチ角以下のものを使い、他の食品の後に入れてください。
- やわらかい食品から先に入れてください。かための食品を先に入れると、カッターに引っかかり運転が止まることがあります。

※ 1250ml の目盛を超えて材料を入れないでください。

※ 40℃以上の熱い材料を容器に入れないでください。ふきこぼれによるやけど・容器割れによるけがの原因になります。

2 ミキサーユニットを本体ベースに取りつける

- ミキサーユニット接続部を、本体ベースの凹部にしっかりと取りつけてください。正しく取りつけられていないと、モーターが運転しません。

3 電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込む

4 ふたをしっかりと押さえながら、用途に合わせて電源つまみを回す

- うまくかくはんできない場合は、数回「FLASH」に合わせて断続的にかくはんしてから連続運転をしてください。
- 氷などの固い食品を砕く場合は、「ICE CRUSH」ボタンを使います。電源つまみを「STOP」に合わせて、数回に分けて「ICE CRUSH」を押してください。
- 家庭用の氷をお使いください。
- 材料（氷含む）がかくれる程度の水分を入れてください。

※ 市販のロックアイスは使わないでください。けが・故障の原因になります。
※ ミキサー容器が空の状態で運転しないでください。故障の原因になります。
※ 水分を入れずに運転すると、故障の原因になります。
※ ふたを押さえていないと、運転中に材料がふきこぼれることがあります。
※ 運転中にふたを開けたり、ミキサー容器の中に指・スプーン・はしなどを入れたりしないでください。けが・故障の原因になります。
※ ２分を超えて連続運転をしないでください。くり返し運転する場合は、２分以上休ませてからお使いください。故障の原因になります。

5 調理が終わったら、電源つまみを「STOP」にして、電源プラグをコンセントから抜く

- ミキサーカッターの回転が完全に止まってから、ミキサーユニットを本体ベースからはずします。
- 使い終わったらお手入れをしてください。
  ⇒ お手入れについては、９ページの「お手入れ」を参照してください。

ミルを使う

ミルでできること（例）

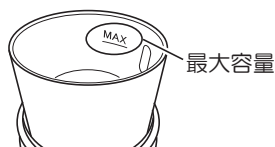
- 乾燥物を粉砕して粉末状にする
  （例）コーヒー豆を挽く、
  　　ふりかけ・ダシを作る
- 食品をすりつぶしてペースト状にする
  （例）離乳食を作る

ミルで調理できない食品

- 繊維質の多い食品（肉類、たくあん、根昆布 など）
- 水分を抜いた果物類（レーズン など）
- 油分の多い食品（ごま・ピーナッツなど）
- 粘り気の強い食品（とろろいも・生わかめ・ジャム・納豆 など）
- かたい食品（氷・氷砂糖・冷凍食品・市販のロックアイス・乾燥したきのこ・昆布 など）

1 ミル容器に材料を入れてミル容器ふたを取りつける

- 食品は1センチ角程度に小さく切って入れてください。大きいとうまくかくはんできないことがあります。
- ミル容器ふたをミル容器にかぶせて、時計回りに回して取りつけます。
- カチッと音がするまでしっかりと締めつけてください。正しく取りつけられていないと、モーターが運転しません。

※ カッターの刃は鋭利なため、直接手を触れないでください。
※ ミル容器ふたのツメを、ミル容器の凹部にしっかりとはめてください。ふたが外れて故障の原因になります。
※ ミル容器内側のMAXの目盛を超えて材料を入れないでください。

※ 40℃以上の熱い材料を容器に入れないでください。ふきこぼれによるやけど・容器割れによるけがの原因になります。

2 ミルユニットを本体ベースに取りつける

- ミルユニット接続部の▼マークと、本体ベースの▲マークの位置を合わせて凹部にしっかりと取りつけてください。正しく取りつけられていないと、モーターが運転しません。

3 電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込む

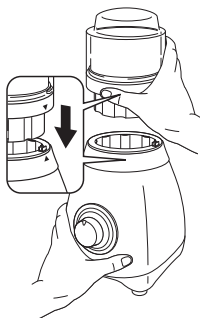
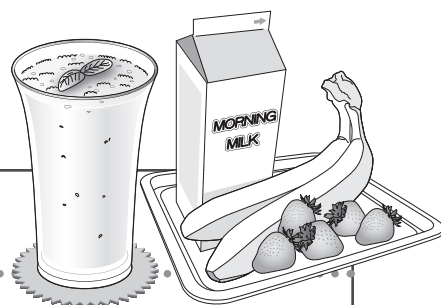
4 ミル容器をしっかりと押さえながら、用途に合わせて電源つまみを回す

- うまくかくはんできない場合は、数回「FLASH」に合わせて断続的にかくはんしてから連続運転をしてください。

※ ミル容器が空の状態で運転しないでください。故障の原因になります。
※ 2分を超えて連続運転をしないでください。くり返し運転する場合は、2分以上休ませてからお使いください。故障の原因になります。

5 調理が終わったら、電源つまみを「STOP」にして、電源プラグをコンセントから抜く

- ミルカッターの回転が完全に止まってから、ミルユニットを本体ベースからはずします。
- 使い終わったらお手入れをしてください。
  ⇒ お手入れについては、9ページの「お手入れ」を参照してください。

お料理レシピ

いちごのスムージー

材料（5 人分）

牛乳	300ml	練乳	90ml	いちご	250g
バナナ	80g	氷	160g		

作りかた

① いちごはヘタを取り、バナナは 2cm 程度の輪切りにする。
② 氷以外の材料を牛乳、練乳、いちご、バナナの順でミキサー容器に入れて、LOW で約 10 秒かくはんする。
③ 投入口キャップをはずし氷を入れ、ICE CRUSH で約 20 秒かくはんする。

じゃがいものポタージュスープ

材料（5 人分）

じゃがいも（中）	4 個	玉ねぎ	1 個	コンソメ（固形）	2 個
水	適量	牛乳	350ml	塩・粗びきこしょう	適量
パセリ	適量	薄切りベーコン	1 枚		

作りかた

① じゃがいもと玉ねぎは皮をむき 1 口大に切る。
② 鍋に①とコンソメを入れ、水を材料がかぶるくらいまで入れる。
③ ②を火にかけ、沸騰したら弱火にし、柔らかくなるまで煮る。
※箸などで簡単に崩れるくらいまで煮て下さい。
④ 火を止めて室温程度まで冷ましたら、ミキサー容器に入れて、LOW で約 20 秒かくはんする。
⑤ ④を鍋に戻し、牛乳を入れて弱火で温め、塩・粗びきこしょうで味を調える。
⑥ パセリは細かく刻み、ベーコンはカリカリになるまで焼き、5mm ～ 1cm 角程度に切る。
⑦ ⑤を器に盛り、パセリとベーコンを散らす。

お手入れ

※ 必ず、電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからお手入れをしてください。感電・やけど・けがの原因になります。
※ 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面を傷つける原因になります。

ミキサーユニット・ミルユニット

1 容器の中に残った調理物を取り除く

2 容器の中のすき間部分の汚れを洗浄する

① 容器に水またはぬるま湯と数滴の台所用中性洗剤を入れて、本体ベースにセットします。
- 洗剤を入れすぎないように注意してください。泡があふれることがあります。

② ふたまたはミル容器をしっかりと押さえながら、電源つまみを「LOW」に合わせて、15～20 秒運転します。
- 汚れの程度により、運転時間を調節してください。

③ 電源つまみを「STOP」にして、電源プラグをコンセントから抜き、容器の中の水またはぬるま湯を捨てます。

3 ユニットを分解して、本体ベース以外の部品をよく水洗いする

- カッター・パッキンは、毛先のやわらかいブラシなどで洗ってください。
- つけ置き洗いはしないでください。

※ カッターの刃は鋭利なため、直接手を触れないでください。

4 乾いた布で水気を拭き取り、よく乾かす

本体ベース

1 うすめた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞って拭く

2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾かす

※ 本体ベースは、モーターが内蔵されているため、丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。ショート・感電・故障の原因になります。

故障かなと思ったら

こんなときは故障ではありません。
修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
運転しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。	–
	電源つまみを「LOW」、「HI」、または「FLASH」に合わせていますか。	電源つまみを「LOW」、「HI」、または「FLASH」に合わせてください。電源つまみは「FLASH」には固定されないため、電源つまみを合わせているあいだだけ運転します。	4
	電源つまみを「LOW」または「HI」に合わせた状態で、「ICE CRUSH」を押していませんか。	「ICE CRUSH」を押すときは、電源つまみを「STOP」に合わせてください。また「ICE CRUSH」は押しているあいだだけ運転します。	4・6
	ミキサーユニットやミルユニットが本体ベースに、またはミル容器ふたがミル容器に正しく取りつけられていますか。	ミキサーユニットやミルユニットを本体ベースに、またはミル容器ふたをミル容器に正しく取りつけてください。正しく取りつけられていないと、安全スイッチが押されず、モーターが運転しないしくみになっています。	5・6・7
調理物がもれる。	正しく組み立てられていますか。	ミキサー容器とミキサー容器台、パッキン、カッター、ふた、投入口キャップ、またはミル容器とミル容器ふたをしっかりと取りつけてください。傾いた状態で取りつけられている場合は、一度容器を取りはずしてから再度正しく取りつけてください。	5・6・7
	材料を入れすぎていませんか。	容量以上の材料を入れないでください。材料の量が多い場合は、一度電源つまみを「STOP」にして、ミキサーユニットまたはミルユニットを本体ベースからはずして、容器の中の材料を減らしてください。	6・7
・カッターが空回りする。 ・材料がうまくかくはんしない。 ・途中で運転が止まる。	材料が以下のような状態ではありませんか。 ・材料の量が多い、材料の量が少ない ・材料の切りかたが大きい ・水分が少ない、水分が入っていない ・調理できない食品が入っている	一度電源つまみを「STOP」にして、ミキサーユニットまたはミルユニットを本体ベースからはずして、容器の中の材料の種類・量・切りかたなどを調節してください。 かたい食品などは、小さめに切って少量ずつ入れるとかくはんしやすくなります。水分が足りない場合は、材料を減らして水分を追加してください。 調理できない食品は取り除いてください。	6・7
	材料がカッターにはさまっていたり、カッターがあたらない場所に付着したりしていませんか。	一度電源つまみを「STOP」にして、ミキサーユニットまたはミルユニットを本体ベースからはずして、はさまっている材料を取り除いてください。材料がカッターの刃にあたらない場所に付着している場合は、へらなどを使って中央に集めてください。	–

長年ご使用のミキサーの点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

愛情点検

こんな症状はありませんか？

・本体が異常に熱い
・コードや電源プラグが異常に熱い
・焦げ臭いにおいがする
・コードを動かすと、電源が入らないことがある
・その他の異常・故障がある

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。
ご自分での修理は危険です。絶対に分解しないでください。

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。
保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
  保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
  修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

このミル付きミキサーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞

TEL:　03-5413-6125
FAX:　03-5413-6128
E-mail でのお問い合わせ：　info@aucsale.com
受付時間：　午前 10 時～午後 5 時
（土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く）

＜修理センター＞

〒 343-0032　埼玉県越谷市袋山 648-5
株式会社オークセール
サポートグループ返品・修理センター

サポートセンターからのお願い

・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
・ サポートセンターおよび修理センターの電話番号／ FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

siroca の最新情報、新レシピはこちらでチェック！

siroca公式
Facebook(フェイスブック)
http://www.facebook.com/siroca.jp

チームsirocaのブログ
http://ameblo.jp/siroca/

AucSaleサポートストア
http://aucsale.jp/